



『口笛ふいて行こうよ』 寸評

- ・二重奏のたのしさがよく追求された作品
- ・音楽の内容と楽器編成がよい相性
- ・ドンドンまえにすすんでいく内容が物語をかんじさせる
- ・双方の出番と休符のバランスがとてもよい
- ・タイトルも文句なし

完成度をさらに上げるために

- ・グループ括弧 → はつけなくてよい

- ・ m.3 b.3-4 A. リコーダーの記譜  ←ただしスタッカートはつけにくい
- ・ m.16 (くちぶえでもオーケイ) 等、ossia表記の方がのぞましいとおもふ
- ・ m.2, 5 b.4 A. リコーダーの付点八分休符の垂直位置

 ←やや下へ

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

特におわる直前のフェルマータがよい。

持魔 勉